



発行所
新潟市江南区北山1037番地
新潟明訓高等学校同窓会
会長 渡辺 惇 夫

- 一 母校愛精神の昂揚
 - 二 伝統保持と敬愛
 - 三 会員の連繋と相互扶助
- 綱 領

ご挨拶

― 母校の建学の精神に

誇りと自信を ―



同窓会長

渡 辺 惇 夫

日増しに秋の深まりを感じる頃となりました。同窓会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

平素は同窓会の諸活動並びに母校の発展向上のために暖かいご理解とご協力をいただき衷心より感謝を申し上げます。お陰様で我が同窓会も多数の会員を擁し、年々活動実績を積み、その存在感を増しつつあり、母校の発展とともに内外に高い評価を得られるに至りましたことは我々の大きな喜びであり誇りでもあります。このことは偏に会員皆様の変わらぬ母校愛と日頃の

精進とご努力の賜物であるとともに、加えて学校ご当局をはじめ関係者の皆様のご支援助とご協力があったることであり、ここに改めて心からお礼を申し上げます。これからも我々は母校の建学の精神を大切に継承し、同窓会員としての誇りを持ちながら引き続き同窓会発展のため努力邁進していかねばなりません。さて、ご承知のように我が母校は大正十年の創立以来、実に八十有余年の歴史を刻み、他校に誇れる立派な伝統と実績を積み重ねて参りました。そして母校に於きましては、新しい時代に対応し今後の更

なる発展を期すために創設された新潟明訓中学校も、三年目を迎え、中高一貫教育も確実に実績をあげております。又、最近の母校の在校生の皆さんの文武両道に秀でた活躍は、我々同窓生に対し新鮮な感動と勇気と自信を与えてくれており、感謝しております。特に部活動に於きましては、運動部、文化部それぞれに全国大会出場という目覚ましい活躍をしております。今年の九月には、新校舎に移転してから初めての体育祭が自慢のグラウンドで実施され、生徒会役員、教職員の方々が力を合わせて昨年より準備をされてきた事で、生徒達の個性と団結力が大いに発揮された素晴らしい体育祭であったと聞きおよんでおります。これからも後輩の皆さんのより良い教育環境づくりに協力するのでも我々同窓生の責務ではないかと思えます。

我が同窓会に於きましても、この母校の発展に相応しい体質と拡充が強く求められておりますとともに、同窓会員の

この事に向けた意識改革もまた必要であると思えます。幸いにも我が同窓会には年代を問わず多くの優れた人材も多く、広く各界各層に於いて指導的立場で活躍しておられます。この多くの皆様から母校の現状を充分にご理解いただき、大きな関心を持っていただくことにより同志的意識を高め、協力体制を確立することができ、それが同窓会の活性化に繋がっていくものと思えます。このことが母校の発展に寄与するものと確信いたします。

します。先般も常任委員会の席上、同窓会が発展するには、時代に沿った活動方法を取り入れる必要性があるという意見が提案され、従来から検討されておりました女性会員の拡充を計るねらいも含め、この度、新たに女性副会長を任命し、早速活躍をさせていただいております。又、同窓会のホームページの開設も順調に進んでおる事を確認させていただきます。今後最大限の努力をしていく決意をいたしました。心からご協力をお願いいたします。

境も、更には政治の世界も大きな変化が起こりました。そのために従来の生活環境ががらりと変わってしまった方もおられるでしょうし、又、考え方や行動基準をあらためなければならなくなった方もおられるのではないかと思います。このように新しい事態に遭遇したとき、「初心忘るべからず」という言葉を思い出しますが、この言葉は、わかり易いようで実は理解に一寸迷うことがありました。先日草柳大蔵氏の書かれた文を読ませて頂いたら、この言葉は簡略に過ぎるのであって、世阿弥は次の三行の辞句を書いておられるのだそうです。是非「初心忘るべからず 時々「初心忘るべからず 老後「初心忘るべからず」「是非「初心」というのは、若いときの成功と失敗のことであり、若さゆえの成功、若さ故の失敗ということがあるのでそのことをしっかりと区別するように、ということだそうです。

老後の初心



理事長

伴 昭 彦

私達の生きていくこの世の中が、最近では随分変わってしまいました。地球環境も経済環

「老後「初心」というのは、中・壮年の方は、その年齢相応の魅力があるのだから、それを忘れてはならない、という戒めだそうです。さて「老後「初心」は最も大切であり、五十歳を過ぎれば自然の魅力は失われるのだから、言葉にも、動作にもそ

れなりの工夫が必要であり、そのことよって、少なくとも老醜を見せないことだとのことです。私から申上げるまでもなく皆様方はその時々に対応を適

初めての体育祭



学校長 野本憲雄

生徒・保護者の皆さんから要望が強かった体育祭をようやく実施することができました。九十年近くの伝統ある学校に体育祭がない方が驚きでした。生徒会役員、教職員が力を合わせて去年から大変がんばってくれたお陰だと、ただただ感謝しています。当日は、前夜からの雨でグラウンドには水溜りができていました。が、体育科の職員、陸上部員、サッカー部員が早朝から献身的に整備してくれました。あいにく時折雨が落ちる肌寒い日でしたが、短い準備期間にも拘わらず、中学生も高校生も工夫して要領よく準備し、応援に競技に大変盛り上がり、すばらしい体育祭になりました。大変感激しました。

切にされて花のある人生を送って来られ、又、これからも同様に過ごされるであろうことを祈念いたします。

とりわけリレーは圧巻でした。ハンディをつけても優勝した全国上位の実力を持つ陸上部のスピード、バトン捌きには圧倒されました。きっと生徒諸君にもよい刺激になったと思います。

学校が一丸となって、協力し、力いっぱい目標に向かって頑張る経験は、学校を活性化するばかりではなく、生徒諸君にも将来必ず役に立つと思います。明訓生の集聚力、オリジナリティー、バイタリティーを改めて実感するとともに、生徒や先生方から元気をもらっている幸せを感じながら、競技に応援に引き込まれて見ていました。女性作家の田口ランディさんは、こんな友人の話を紹介

しておられます。長いですが、そのまま引き写させて頂きます。

「うちなあ、母親になって思ったんよ。よくもまあ、みんな子供を殺さずにやっっているなあって。だつて、あんた、二十四時間介護やで。それでもさあ、殺される子供なんてめったにいないわけよ。なんだかんたないながら大人になる。すごいことだよ。奇跡だよ。奇跡」

「赤ちゃんってのは、ぎゃあぎゃあ泣いて、ミルクほしがって、うばうば飲んで、寝て、うんこして、一生懸命お母さんの顔を覚えて、そりゃもう生まれてきただけで凄いやけど、その後も成長して生きようとする力に大人は果然とさせられる。目から鱗やね。もう、赤ちゃんのパワーは。それを見せつけられるから、大人はもう赤ちゃんの奴隷になって育てるんだよ」

本当にそうだと思います。私は日ごろから、この歳にな

ってなお、赤ん坊ではないけれども、活力ある先生方や成長し続けている多くの若者から元氣と力をもらって、幸せなことだと感謝しています。そして、また、元氣をもらうだけでは相済まない。刺激を与えているだろうか、希望を与えているだろうか、頼りになる存在になれているだろうか、とも自省しています。体育祭はそんな想いをますます強くしてくれる機会となりました。

関西新潟明訓会

総会・懇親会開催

関西新潟明訓会平成21年総会が平成21年10月3日(土)午後12時半より大阪市都島区網島町の「太閤園」で開催されました。

同窓会本部からは渡辺会長、児嶋、大倉、両副会長が出席。そして、学校側からは伴理事長、野本校長が出席され、総勢22名での開催となりました。

総会に先立ち、今年6月に急逝された関西新潟明訓会幹事長、片野修三氏に黙祷を捧げ、謹んでご冥福をお祈りす



安城会長挨拶

ると共に、関西新潟明訓会の設立と今日に至るまでの会運営にご尽力された功績を称え

ました。

総会は安城会長のご挨拶ではじまり、来賓祝辞として渡辺同窓会長。伴理事長からは同窓会の皆様からは常々大変お世話になっておるお礼と、人集めの秘訣などお話を頂きました。そして、野本校長からは文武両道の新潟明訓の近況についてお話を頂きました。その後、議事に入り、井嶋幹



渡辺同窓会長挨拶

本総会では役員改選が行われ、関西新潟明訓会の設立時から会長を務められた安城会長がご退任され、今後は顧問として会の益々の発展にお力添えをいただく事になりました。そして、新会長には昭和46年卒業の本間則男氏が就任されました。

関西新潟明訓



本間新会長挨拶

事から会務報告、会計報告が行われ、平成21年度より会計決算時期を同窓会本部に合わせる旨の説明が行われ、21年度予算(案)と共に承認されました。

新田会長が口を揃えて「関西圏の会員の掘起し、会員拡大」が設立来の大きな課題であるという事をお話されていました。そして、野球部が甲子園に出場すると会員の集ま

りも良いので、是非とも来夏は甲子園出場を決めて欲しいという強い要望もいただきました。総会終了後の懇親会では同窓会本部持参の「越の寒梅」

などもふるまわれ、皆さんの経つのも忘れて楽しいひと時を過ごしました。終わりに、声高らかに校歌を斉唱し、名残惜しみつつ閉会となりました。



関西新潟明訓会記念撮影

教職員と生徒が丸となって開催された 初めての体育祭



開会式



リレー種目



大玉送り競争



背中渡り競争



応援合戦



大縄跳び



女子棒引き



男子ムカデ競争



黒連合総合優勝

「価値ある歴史と新しい未来」

——三年目の新潟明訓中学校——

新潟明訓中学校

第三学年主任 榎口和義

今年四月、第三期生八十五名が入学し、ようやく三学年が揃いました。現在、一期生八三名、二期生八一名、三期生八五名、合計二四九名が、新しい新潟明訓中学校の歴史を次々に創り上げています。

入学当初から何もかもが「初めて」の一期生。まささらな雪原に足跡をつけるかのように一歩ずつ明訓中学校を形作ってきました。そして二期生、先輩の一期生が築いてくれたものをさらに発展させるべく努力しています。まだ入学して半年の三期生は最近やっと明訓中学校での生活にも慣れ、学校生活も充実してきました。明訓中学校の生徒はいつも明るく元気です。その明るさは学校全体の雰囲気になぎやかにしてくれているように思えます。

明訓中学校は授業も活気あふれるものになっています。一年生の授業では、教員の話を引ききらした眼で聴いている生徒の姿を見ることが出来ます。授業内容でわからないことがあればすぐに発言して

解決しようとする活発な生徒もいます。たまに脱線して注意を受ける生徒もいますが、それらを含めて「生きた授業」が展開されています。三年生になると落ち着きがでてきますので活発な発言とまではいきませんが、それでも授業に對する集中力、何かをつかみ取るうとする積極性は持ち続けています。

授業内容は学年が進むにつれて非常に高度なものになっていきます。これは公立の中学校よりも授業時数が多く、それだけ多くの内容を消化できるとい物理的な要因もありますが、それ以上に明訓中学校の生徒の探求心の旺盛さ、吸収力の高さがそれを可能にさせているのだと思います。よく「子どもの可能性は無限大である」と言いますが、まさに日常の学習活動でその片鱗を感じさせてくれる生徒たちです。

さて、明訓中学校では入学後すぐに生徒たちに「明訓の建学の精神」と校訓「好学・自治・質実・奉仕・協力」を

わかりやすく説明し、日常のあらゆる場面で意識するように指導してきました。「明訓の価値ある歴史」の継承です。特に総合学習の一環として行



われる校外活動に際しては、一年生の「明訓キャラバン」(オリエンテーション合宿)では「好学・自治」、二年生の「明訓クエスト」(宿泊を伴う校外合宿)では「協力」を目標に掲げています。校訓を言葉だけの理解にとどめず、体験を通じた真の理解と未来への新しい実践につなげたいという思いからです。

「価値ある歴史と新たな未来」・・・これは新潟明訓中学校開校にあたっての基本イ



メージです。八十有余年の明訓の価値ある歴史を新しい時代を生きる生徒たちに伝えつつ、同時にその歴史を基にしてどんな新しい創造ができるのか。これを追求することが我々中学校担当教員の最大の使命です。

私自身は一期生を担当させていただけで3年目になりました。充実した日々を過ごしてきた実感からか、あつとい

う間の二年半であったという印象です。そしてまだ高校卒業まで三年半の時間があることに感謝しています。来年はいよいよ一期生が明訓高校に進学します。「新たな未来」がまた始まります。教員一同、生徒たちの成長のために全力で取り組んでいく所存です。今後ともご声援のほど、よろしくお願いいたします。



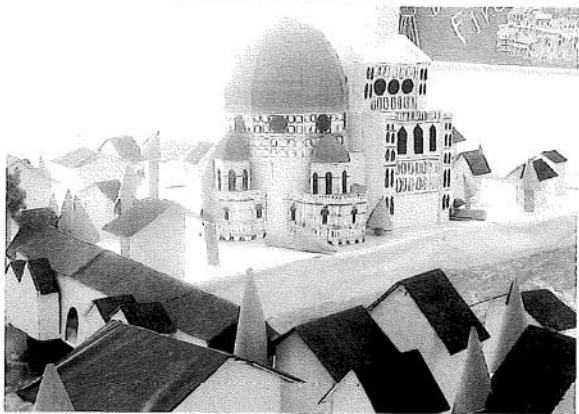
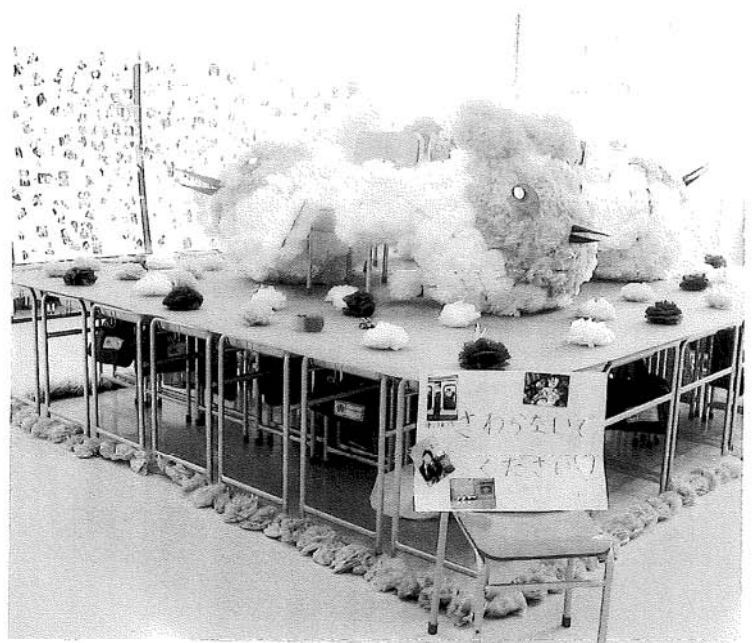
▲中庭に飾られた全クラスのPRボード

平成二一年度
明訓祭

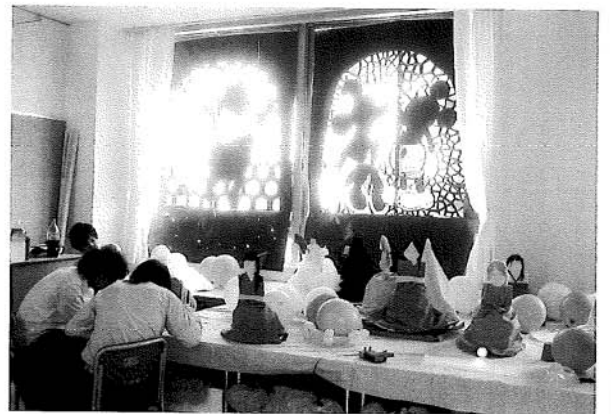
「水無月みなづきやつとそ六つたトキメークン♡」

今年の明訓祭は、6月12日の午後から13日と二日間に渡り開催されました。天候にも恵まれ、終日たくさんの方々にお越しいただきました。今年の明訓祭のテーマは、「水無月やつとそ六つたトキメークン♡」

「メークン♡」でした。このテーマには、今年は中学校の全学年が揃い、人数も増えたため学校全体が更に活気づいてほしい、という思いが込められています。このテーマに則って、生徒は協力して準備



や練習に励みました。放課後も大勢の生徒が学校に残り準備して、期待を上回る程に校舎全体が活気に満ち溢れていました。下校時間や用具などの規則に違反することも少なく、気持ちよく準備が進められました。限られた時間を有効に使い、当日には見事な作品が完成しました。クラス



も近年の傾向と同様にステージ部門に人気が集まっています。そのためどのクラスも考え抜かれたストーリー、衣装、空間利用などで優れた個性が表現されレベルの高い演劇となりました。そのような中でステージ部門賞輝いたのは、3年10組「ニンテンドースーパー真理男 ブラザーズ」でした。息の合った完成度の高い演劇で会場を驚かせてくれました。

今年の明訓祭は、二日間になつたこともあり前年にも増して充実した素晴らしいものとなりました(一日目は非公開)。生徒は明訓祭を通して友情を深めることができました。最後に、お忙しいなか、多くの方々にお越しいただき、本当にありがとうございます。

表現では教室展示部門、教室演劇部門、ステージ部門、また前庭構築物部門は今年から新たに、門・中庭アーチ部門と名を改め行われました。そして、その中庭アーチ部門から今年の明訓大賞が選ばれました。3年9組「アインシュタイン」です。また、企画段階では、今年

思い出残る修学旅行

二学期始業式の直後、八月二十六日(水)から三泊四日の日程で修学旅行が実施されました。新型インフルエンザの流行のため、消毒液や体温計を持参するなど、集団感染の予防に細心の注意をもって生徒の健康管理にあたる必要

がありました。参加生徒が皆元気に全ての日程を終了することができ、安心しました。先日行った事後アンケートでは、多くの生徒から「旅行内容に満足した・非常に楽しかった」という意見が寄せられました。一方で東京都内での



▲東大キャンパスツアー



▲筑波宇宙センター

「昼食に関する苦情」や、「京都から新潟までの移動に関する不満」を訴える生徒もいました。

今年度は東京周辺での研修と奈良の観光を取り入れるなど、例年とは少し異なった内容で計画しました。一日目は「総合的な学習」として以下のコースを設定しました。

- ① 経済・金融 (日銀本店・東証)
- ② 法学 (日本弁護士会館・警視庁)
- ③ 国際協力 (JICA横浜)
- ④ 宇宙開発 (筑波JAXA)
- ⑤ 航空力学 (羽田空港JAXA)

⑥ 大学訪問 (東大学生との交流)

二日目の奈良観光は好天に恵まれましたが、特に法隆寺はものすごい観光客で賑わっていました。奈良の他、姫路城の見学に参加したクラスもありましたが、ガイドさんの丁寧な説明に耳を傾け、充実した内容となりました。

三日目の京都市内班別自由行動では、八坂・祇園周辺で、幸運にも舞妓さんと一緒に写真を撮ってもらったグループもありました。最終日は宇治平等院観光



▲法隆寺にて

と、清水焼・くみひも伝統工芸体験に分かれました。後日修学旅行アルバムを発行するにあたり、現在生徒諸君から写真を預かり、編集しているところです。

部活動報告

—各部目覚ましい活躍—

【運動部】

◎剣道部

《第37回三条杯剣道大会

4/26 三条総合体育館》

・男子団体 第3位

・優秀選手 大竹 輝

《平成21年度春季新潟地区剣道大会

5/8・5/9

鳥屋野総合体育館》

・男子 個人

第2位 中村 太亮

第3位 永井 渉太

ベスト8 大竹 輝

・団体 第3位

・女子 個人

ベスト16 平原 由紀

渡辺 真央

・団体 第2位

《第5回謙信公杯争奪剣道大会及び

第12回佐渡清正杯剣道大会

5/3・5/5上越リージョン

プラザ・聖籠町民会館》

・女子団体 第2位

《平成21年度新潟県高校総体剣道大会
6/5/6/7長岡市民体育館》
男子個人
第1位 永井 渉太
インターハイ、
北信越大会出場

ベスト8
中村 太亮
北信越大会出場

団体 第3位
北信越大会出場

女子個人
第3位 平原 由紀

団体 第3位
北信越大会出場

《平成21年度北信越高等学校
剣道大会6/19/6/21
ホワイトリング》
男子団体 第3位

◎陸上競技部

《新潟市陸上競技選手権大会
4/25/4/26
新潟市陸上競技場》
男子
4×100MR
第1位 岩村、吉岡、大田、佐藤

100M
第1位 岩村 麻生

円盤投げ
第1位 小岩 晴樹

砲丸投げ
第3位 小岩 晴樹

女子
4×100MR
第1位 佐藤、田中、大津、近藤

800M
第2位 横山 みわ

1500M
第2位 横山 みわ

円盤投げ
第2位 拝野紗生子

男子
100M
第1位 岩村 麻生

200M
第1位 岩村 麻生

400M
第3位 吉岡 史則

110MH
第3位 斎藤 芳輝

400MH
第3位 大田 醇

4×400MR
第1位 岩村、吉岡、大田、佐藤

円盤投げ
第2位 小岩 晴樹

女子
100M
第1位 田中 泉

200M
第1位 田中 泉

80M
第1位 横山 みわ

3000M
第1位 高橋 瑞希

100MH
第2位 寺尾香都美

400MH
第1位 内山 栞

4×100MR
第2位 佐藤、田中、大津、寺尾

砲丸投げ
第1位 寺尾、田中、佐藤、内山

円盤投げ
第1位 拝野紗生子

男子
100M
第1位 岩村 麻生

200M
第2位 吉岡 史則

400M
第2位 岩村 麻生

110MH
第5位 大田 醇

400MH
第1位 佐藤 駿

円盤投げ
第3位 小岩 晴樹

第4位 渡辺 優斗

4×100MR
第1位 岩村、吉岡、大田、中沢

女子
井上、斎藤、岩村、吉岡

100M
第4位 田中 泉

400M
第6位 内山 栞

800M
第1位 横山 みわ

1500M
第7位 高橋 瑞希

3000M
第4位 高橋 瑞希

100MH
第8位 山本 咲

400MH
第4位 寺尾香都美

砲丸投げ
第3位 内山 栞

円盤投げ
第1位 拝野紗生子

男子
4×100MR
第1位 岩村、吉岡、大田、中沢

4×100MR
第1位「40秒97」
北信越高校新記録

女子
山本、佐藤、岩村、吉岡

200M
第2位 吉岡 史則

円盤投げ
第2位 小岩 晴樹

100M
第3位 吉岡 史則

110MH
第4位 岩村 麻生

砲丸投げ
第6位 大田 醇

円盤投げ
第2位 拝野紗生子

4×400MR
第3位 大津、田中、内山、近藤

4×400MR
第4位 渡辺、田中、大津、内山

男子
4×400MR
第8位 齋藤、佐藤、岩村、吉岡

《北陸陸上競技選手権大会
8/29/8/30
富山県総合運動公園陸上競技場》
男子
400M
第3位 吉岡 史則

女子
200M
第3位 田中 泉

◎野球部
《第120回北信越地区
高校野球大会新潟県大会
4/26/5/3、5/7/5/11
鳥屋野運動公園野球場・
佐藤池・上越・悠久山各球場》
5月1日
対 巻高校 5-2
5月2日
対 分水高校 7-1
1回戦 対 高田高校
3-2(延長12回サヨナラ)
準々決勝
対 新潟南
8-1(8回コールド)
準決勝
対 日本文理 5-10
シード順位決定戦
対 北越 6-5
(サヨナラ) 第3位

◎サッカー部
《新潟地区サッカー大会
5/7/5/9
新潟西高校、明訓高校、
鳥屋野球場各会場》
第3位

《第48回北信越高等学校陸上競技大会
6/19/6/21
松本市松本平広城公園陸上競技場》

《平成21年度全国高等学校総合体育
大会陸上競技大会 7/27/8/3》

◎弓道部

《春季新潟・下越地区弓道大会》
5/1 新津地域学園弓道場
・女子個人
第4位 野本祐里子
(8射中6中 ↓ 遠近法による)

《新潟県高校総体弓道大会》
6/5/6/7

新津地域学園弓道場
・団体女子 第5位
原・川上・佐藤・本間・野本

◎男子テニス部

《春季下越地区テニス大会》
4/27/4/28 新発田市
五十公野公園テニスコート
・シングルス
第3位 田崎 光

《第32回全国選抜高校テニス大会》
県一次予選 8/19/8/20
新潟市庭球場

第2位 県大会出場

◎女子テニス部

《春季下越地区テニス大会》
4/27/4/28
胎内市国際交流公園テニスコート
・ダブルス
ベスト4 茂野・木村
・シングルス
ベスト4 木村 早希

《平成21年度下越地区高校
新進テニス大会胎内市国際交流公園
テニスコート 8/3/8/4

・シングルス

第2位 五十嵐明美
第3位 中野 佑子
ベスト16 丸山 芽衣

《第32回全国選抜高校
テニス大会 県一次予選
8/19/8/20 新潟市庭球場》

第3位 県大会出場

◎相撲部

《春季地区大会相撲競技大会》
新潟県予選会 5/2
新潟県立高田農業高校
・個人体重別
軽量級
第2位 佐々木悠介

《新潟県総合体育大会相撲競技大会》
6/6 新潟県立海洋高校
・個人80kg未満級
第3位 佐々木悠介

◎水泳部

《新潟下越地区春季水泳競技大会》
5/27 新潟西海岸公園市営プール
男子

・200M バタフライ
第2位 渡部 匠
・400M フリーリレー
第3位 渡部、高田、永井、吉田
総合3位 27点

《第62回新潟県
高等学校選手権水泳競技大会
6/19/6/21
上越市民プール》

・200M 個人メドレー

第5位 渡部 匠

・200M バタフライ
第5位 渡部 匠
・100M 自由形
第7位 吉田 健人

◎ダンス部

《第62回新潟県総体兼第22回全日本
高校・大学ダンスフェスティバル
(神戸)予選会 5/30/5/31
聖籠町文化会館》
最優秀賞 全国大会出場
《全日本高校・大学ダンスフェス
ティバル(神戸)8/3/8/7
特別賞(舞台美術)
「うつ現し世に蠢く闇
―化けのすみか―」

◎女子バドミントン部

《第198回新潟支部
バドミントン大会 7/20
鳥屋野総合体育館》
・女子ダブルス
第3位 羽田・大野組

【文化部】

◎写真部
《県高文連写真専門部
第13回撮影大会佐渡大会
5/28/5/30 主会場
佐渡市相川 撮影地 佐渡市》
・競技部門デジタル
大賞 大村 浩之

特選 樋口 夕記
奨励賞 田中 綾華
小林 花衣
佐藤 麗
野澤 美奈
塚田 恵
小川 果林
重松 諒平

入選 今井草一郎

《第56回NHK杯全国高校
放送コンテスト 新潟県予選
6/17 新潟市音楽文化会館》
・アナウンス部門

◎放送部

《第56回NHK杯全国高校
放送コンテスト 新潟県予選
6/17 新潟市音楽文化会館》
・アナウンス部門

第1位 古山 貴章
第3位 平 響

朗読部門
第6位 佐藤さおり

・テレビドキュメント部門
第1位 「15才の決断」
・ラジオドキュメント部門
第2位

《どう思う?新しい制服》
以上は、7月22日/24日の
全国大会に出場権獲得
(平成6年から16年連続)

《第33回全国高等学校総合文化祭
三重大会 7/31/8/3
松阪市民文化会館
松阪コミュニティ文化センター》
・ビデオメッセージ部門
優秀賞 「俺の生きる道」
(全国代表96作品中の7本の
優秀賞)

◎書道部

《第14回 全日本高校・大学
生書道展》
優秀賞 今村 円香
(出品総数12501点中
優秀賞は810点)

全国大会への道

陸上部

陸上競技部部長 吉岡史則

7月29日から5日間、奈良
県の鴻ノ池陸上競技場で行わ
れたインターハイに出場して
きました。本陸上競技部から
昨年まで全国入賞者を6年連
続で輩出しており、特に今年
のインターハイでは多くの種
目で全国ランキングの上位に
つけ、「明訓」の名を全国の
多くの方の心に刻むことを目
標に競技をしてきました。
しかし、思うようにはいか
ず、特に全国ランキングで3

位につけていた男子4×100
0mリレーが、わずかなミス
から準決勝敗退となるなど全
国の舞台の厳しさを痛感しま
した。大会3日目には、イン
ターハイ出場権を獲得できな
かった部員も新潟から応援に
駆けつけてくれましたが、そ
れでも全国の壁は厚く、4日
目まで入賞を勝ち取るまで
は至りませんでした。
チームには暗い雰囲気も漂
っていましたが、「このまま

終る訳にはいかない」という
思いが強く、最終日となる5
日目には上手く気持ちを切り
換えて臨むことができました。
その結果、男子の4×4
00mリレーでは、先生方の
支え、部員のサポート・応援
などのおかげで、選手は自分
達の力の全てを出し尽くすこ
とができ、全国8位入賞とい
う成績を取ることができま
した。この結果は県勢として
も3年前の本陸上競技部の先
輩方に続く2度目となる快挙
であったそうです。
高校生活最後となるインタ
ーハイにおいて部員全員の力
で勝ち取った入賞は全ての悔
しさや3年間の苦しさを吹き
飛ばす素晴らしいものでし



た。
最後となりましたが、私達がここまでこれたのは、今まで指導して下さいました先生方や

応援して下さいました方々の支えがあつてのものでした。本当にありがとうございます。

剣道部

最高の夏

永井渉太

私はインターハイに出場して、思ったことが三つあります。一つ目は、全国には素晴らしい選手がたくさんいるんだと思いました。全国の舞台で試合ができて、今まで努力してきた結果を出しきりましたが、三回戦負けでした。やはり全国の力はすごいと思いました。それでもインターハイで一勝できたことはこれからの人生にきつとやくにたつと思います。

二つ目は、全国大会に出ることが決まってからの練習の日々です。夏休み中の練習だったので、一日八時間の朝から日が暮れるまで毎日辛い練習をしてきました。肉体面や精神面も限界を超えていたけど、家族や先生、チームの仲間の支えがあつたからこそ、

毎日の辛い練習にも負けずがんばれたと思います。

三つ目は、やっぱり全国大会の決勝はすごかった。これが同じ高校生とは思えないほどの試合だった。全てがカッコ良く見えた。私も見る人に感動をあたえるような試合がしたいです。高校生ではもう日本一になれないので、次は大学生として日本一と言う夢に向かって走って行きたいと思っています。本当に自分一人では絶対にインターハイには行けなかったし、三年間も剣道ががんばれなかったと思う。本当に私は家族やチームのみんなに支えられて今の私がいると思います。チームのみんなには本当に感謝しています。私にとって最高の夏であり、最高の三年間でした。

写真部

全国大会の魅力

小川果林

夏休みに四泊五日で行った三重県での、全国大会。毎食刺身が出たとか、一つの話について十四時間も話し続け

たとか、個人的な思い出も沢山あったが、今回は全国大会の活動の中でも特に印象に残っている交流会のことにつ

いて皆さんに紹介したいと思う。

交流会は、全国から集まった写真部の高校生がランダムに約十人ほどで一つのグループになり、自己紹介をしたり予め用意しておいた写真を交換したりする。まさに日本を凝縮したようなものだから、いくつもの方言が聞けたり、全然違う制服の着方を見れたり大変めずらしい機会であった。そんな所にボンッと一人投げ込まれるので、普段人見知りをしていない私も緊張せずにはいられず、本当に夏の暑い時に冷や汗が流れた。



私のグループにも、北は青森から南は沖縄までさまざまなか地域から集まっていたが、とても良い人達ばかりだったのですぐに打ち解けられた。長野県の公立高校はどこも私服だとか、沖縄弁を教えてもらったりとか、某テレビ番組に出そうな話題を話したために変わった。交換した写真も、一人一人の個性があらわられていて、自分のこれまでの生活で培われた人生観や価値観でここまで写真にも変化があるんだなあと驚いた。

交流会の最後には皆で写真を撮ったり、メールアドレスを教えあつたりした。時々、近況を聞いてたりしている。自分が写真部に入部し、全国大会に行っていない人が多かったら出会うことすらない人達である。そう考えると自分は貴重な経験をしたとあらためて実感する。全国大会の醍醐味を味わった交流会であった。

小島和之	小泉萌	黒部加菜	川崎泰洋	金子幸広	金子愛里	加藤瑞貴	織戸貢	小川純子	岩村純子	伊藤慧	石井裕之	五十嵐彩香	阿部佳織	相澤由香里	3組(42名)			渡邊光	丸山由希子	眞柄香澄	本間俊貴	藤澤春奈	藤尾翔子	長谷川円香	南場美紀	中島玲佳	中澤亜紀
渡邊吾子	李意凡	吉崎慈保	吉井美佳	前田大輝	本田有加	保坂太成	羽生聖	箱岩美緒	野村珠紀	野澤窓香	野崎唯	中山莉沙	中村寛生	中村彩香	豊島修造	辻川ひかり	田中将敬	高橋賢人	相馬耕	瀬賀薫	白砂萌子	佐々木茜	佐久間拓郎	坂井康二	小林諒子	後藤真理子	
根津史人	成澤優里香	中村友哉	田村照彦	竹内真弥	高橋真建	関田さつき	須田修	鈴木嘉章	坂井亮介	坂井俊輔	酒井晴	小山真行	媚山真子	後藤淳子	小竹祥	河村茉以子	小倉瑞貴	岩城奈那	今井須美子	磯部慧利	石野友里	石塚愛海	石田雄一郎	五十嵐悠亮	五十嵐直人	4組(39名)	
神澤太地	金子真悠	金子愛	加藤一平	梶原圭一郎	小川万理江	岡島未佳	大瀧千輝	石見優作	入山裕司	入山和史	浅田拓斗	5組(40名)		若杉亮太	吉谷千彬	山本理紗	森下大	村山亨	宮澤莉佳	三沢えり	三ヶ月あゆみ	増田里美	堀江彩香	藤田純平	畑遼太郎	野澤茉央	
渡辺天人	和田斉子	山中直人	望月直哉	三井田なずな	松田実可子	梶田千尋	星さやか	別所あすみ	福田桂也	馬場彩花	箱岩友加里	野中洋	野口大河	西片祥子	永松幸憲	中沢江莉	立川敬太	高野鮎里	高地啓基	清野紗由美	塩原光	佐藤綾朱	小山匠	小林万莉奈	小島愛美	木村駿典	
服部健太	信江貴志	中村健太	中村佳保	武石雄樹	高橋愛子	関川克哉	眞貝洋介	島田奈津子	佐藤卓哉	齋藤優	齊藤信幸	小林賢典	幸村美歩	神田大陽	川瀬あす香	加藤諒太郎	大滝涼馬	大島晃	大熊健	岩内大樹	石月貴大	池田遼	青山貴大	6組(35名)		渡邊南風	
金子幸太郎	風間美芽	鏡淵香	大村千穂	大谷亮介	大谷左由加	猪股文哉	稲越千香子	市橋順	磯部理恵	石森柊	有本伸大	阿部もな未	浅井遥	7組(47名)		渡辺曜子	堀川涉	堀井悠太郎	堀卓摩	堀佳奈美	細山和徳	星野一規	帆苺翔	平原侑加	平賀祐介	比企巧	
堀桃子	細山直紀	細野文耶	細海友菜	原あかり	根橋渚	成田慎也	鶴巻夏紀	丹波秀倫	田沢遥	竹石洗	高橋愛実	高橋樹	杉本航貴	須貝一馬	志田真澄	佐藤孝彦	佐々木貴生	坂爪美里	小林佳澄	小島幸大	小島香澄	小飯塚舞	小池夏妃	熊谷あずさ	木下彩香	神田優真	
佐藤修平	佐藤和駿	境健吾	斉藤優	齋藤博史	加藤真一郎	風間啓介	笠原紀章	柿田凌	織原裕貴	奥田隼平	大滝礼	大久保智礼	永島春香	今泉謙太郎	石本清視	石原聡子	石崎栞	8組(45名)			渡辺寛樹	吉原健太郎	横山雄哉	湯浅友恵	向井竣一	皆川優太	
	渡辺倫堂	鷺山要子	森岡啓智	三村啓智	南佳織	松澤真	松井岳	本間広大	藤間あかり	福田賢一郎	樋山瑛	日向俊晴	長谷川祐将	長井聡美	土屋建太	土田倫也	継田政人	谷澤達也	武笠あゆみ	滝山千尋	高野千夏子	高岡万希子	清水拓	柴澤未来	佐藤隆司	佐藤雅恭	

野崎育美	成合紗希	夏井史哉	中村雄至	中村憲史	玉木梨奈	田中友香里	田中直哉	武田安永	高橋彩子	鈴木里佳子	杉田仁	佐野駿	佐藤優樹	坂井美洵羅	齋藤美保	齊藤望	近藤成之	小林雅幸	小林葉月	倉田大地	岸野誠	岡村拓昭	稲田美帆	伊藤陸	相澤直樹	9組 (47名)
石井里佳	池田稜	幾野恭平	阿部賢人	10組 (48名)		渡邊直哉	渡邊加苗	渡辺彩子	渡邊朗	涌井麻理菜	和久井駿	吉田和真	横山菜月	山崎香	山際俊哉	柳澤洋香	宮嶋双葉	三富郁恵	松田冴子	松井綾子	本間隆寛	星繪理香	廣井巧	樋口匠	林大介	花野晃輔
中村友輔	中川茜	長井広樹	東條萌夢	弦巻敏行	筒井賢太	土田恭久	月岡寛	田中彰	田沢円	高野千滉	高田志考	高岡由梨那	瀬尾沙織	鈴木裕子	鈴木孝侑	新保茜	嶋津龍弥	椎名俊憲	佐野礼奈	佐藤俊樹	佐藤千尋	榊原陽香	坂上美希子	木伏哲朗	春日悟	笠原太郎

中山輝	藤石育馬	村川俊介
梨本淳一郎	古川真央	山田拓也
野水元寛	本間絃次郎	山本琴音
長谷川聖	巻口萌子	横山駿平
長谷部麻美	三浦洋平	横山大地
福地雄太	三崎順子	

年会費納入者
御芳名(敬称略)

平成20年卒
全日制59回
8組 (1名)
進藤 シンチ

平成二十年度
会費納入状況

◎終身会費
全日制59回生 7名 三五、〇〇〇円

◎年会費
全日制60回生 428名 二、一四〇、〇〇〇円

◎合計
一、〇〇〇円
二、一七六、〇〇〇円

会務報告

一、会議

(一) 総会

平成20・10・20 (月) 18:00
於 ホテルイタリア軒

(二) 常任委員会

平成21・6・23 (火) 18:30
於 ホテルイタリア軒

平成21年度同窓会総会について
協議

協議

平成21・9・24 (木) 18:30
於 ホテルイタリア軒

協議

平成21年度同窓会総会について
協議

(三) 正副会長会議

平成20・10・8 (水) 18:30
於 新潟会館

同窓会総会運営について協議

平成20・12・17 (水) 18:30
於 新潟会館

同窓会総会についての反省会
首都圏・関西新潟明訓会への予算配分について

平成21・2・16 (月) 18:30
於 新潟東映ホテル

同窓会歓迎会及び卒業式について協議

平成21・5・11 (月) 18:30
於 新潟会館

常任委員会開催について協議

平成21・9・16 (水) 18:30
於 新潟会館

常任委員会・総会開催について協議

二、その他

平成20・11・16 (日) 13:00
於 渋谷エクセルホテル東急

首都圏新潟明訓会総会・懇親会
が開催される

渡辺会長、児嶋・渡邊(淳)副
会長の3名出席

平成21・2・16 (月) 18:30
於 新潟東映ホテル

学校の同窓会担当教職員の方々
との新年懇談会